

---

炭素市場エクスプレス メールマガジン 第5号（2018年2月7日発行）

---

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。  
2018年もご愛顧のほどよろしくお願いいたします！

---

◇トピックス◇

■□ 新着コラム！

- 第4回日本・バングラデシュ合同委員会が開催されました

■□ 事務局からのお知らせ

- パラオにおいて2回目のJCMクレジットが発行されました
- 第2回日本・チリ合同委員会が開催されました

■□ イベント・セミナー情報

- インドネシア JCM 事務局への説明会（環境省主催）
- JCM 公開セミナー：プロジェクト実施における経験と教訓（環境省・IGES 主催）
- COP23 サイドイベント「技術移転を通じた SDGs の達成」サマリーを公開しました

■□ 政府機関の報道発表

- 平成29年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の二次公募における第二回採択が決定しました（環境省）
  - アジア開発銀行による二国間クレジット制度日本基金を活用した第二号案件の承認について（環境省）
- 

「コラム」に、新しい記事をアップしました！

【コラム第42弾！】

◆第4回日本・バングラデシュ合同委員会が開催されました◆

1月10日、バングラデシュより訪日した代表团12名を迎え、JCMの合同委員会を開催しました。このたび開催された第4回日本・バングラデシュ合同委員会では、バングラデシュにおいて初となるプロジェクト登録が承認されました。JCM全体としては、25件目のプロジェクト登録となります。

両国からの出席者は、環境省による JCM 資金支援事業を通じて得られた成功事例も参考としつつ、JCM のさらなる拡大のための議論を深めました。

合同委員会の最後には、...

本投稿の写真など、続きは Facebook ページをご覧ください。（海外環境協力センター Facebook ページ）

⇒ <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>

この投稿への「いいね！」お待ちしております。

「シェア」でさらに“友達”にもご紹介くださいませ。

こちらでもご覧いただけます。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/columns/>

---

#### ◆パラオにおいて2回目のJCMクレジットが発行されました◆

1月30日、日本とパラオの間で実施される二国間クレジット制度（JCM）の下で、クレジットが発行されました。今回クレジットの発行に至った2件のプロジェクトはいずれも太陽光発電システムを導入するものであり、発行されたクレジット量は585トン（削減対象となったモニタリング期間の合計約33か月分）です。なお、これら2件のプロジェクトからの累積削減量は合計で約9,800トンとなるが見込まれています。

#### <クレジットの発行状況>

- ・プロジェクト名：学校への小規模太陽光発電システム導入プロジェクト
- ・クレジット発行対象期間：2016年2月8日～2017年7月31日（約16か月）
- ・クレジット発行量（うち日本政府への発行量）：145 tCO<sub>2</sub>（108 tCO<sub>2</sub>、約75%）
  
- ・プロジェクト名：商用施設への小規模太陽光発電システム導入プロジェクト II
- ・クレジット発行対象期間：2016年1月21日～2017年7月31日（約17か月）
- ・クレジット発行量（うち日本政府への発行量）：440 tCO<sub>2</sub>（329 tCO<sub>2</sub>、約75%）

環境省からの報道発表はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/105063.html>

外務省からの報道発表はこちらをご覧ください。

⇒ [http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4\\_005589.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_005589.html)

プロジェクト情報は JCM ウェブページ（英文）をご覧ください。

⇒ <https://www.jcm.go.jp/pw-jp/projects/issues>

プロジェクト写真は炭素市場エクスプレスウェブサイトからご覧ください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/>

[https://www.carbon-markets.go.jp/columns/renewable\\_energy/](https://www.carbon-markets.go.jp/columns/renewable_energy/)（コラム一覧）

<https://www.carbon-markets.go.jp/publications/>（発行物一覧）

---

◆2017年12月19日、第2回日本・チリ合同委員会が開催されました◆

チリにおける最近の動向はこちらをご覧ください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/initiatives/chile.html>

---

◆2018年3月7日 インドネシア JCM 事務局への説明会（環境省主催、東京）◆

今般、環境省はインドネシアの JCM 事務局を日本に招聘し、事業者がインドネシア JCM 事務局に対して応募案件の事前説明を行う説明会を開催することになりました（これまで5回、同様の説明会を行っております）。つきましては、事業者（特に次年度のプロジェクト補助事業への応募を検討されている方）におかれましては、本説明会を積極的に活用して事前説明を行うことをご検討願います。また、本説明会での事前説明をご希望される事業者は、下記 URL に記載する「説明会への申込方法」により、本説明会の事務局（環境省委託事業の受注者である OECC 宛に申込手続きを行っていただくようお願いします。なお、本説明会は平成30年以降の各種公募の実施を予断するものではありません。

申込受付期間：2月19日（月）16:00まで

説明会概要及び申込方法はこちらをご覧ください。

⇒ [https://www.carbon-markets.go.jp/jp\\_info/jp\\_info\\_event/y\\_2018/20180205-2/](https://www.carbon-markets.go.jp/jp_info/jp_info_event/y_2018/20180205-2/)

---

◆2018年3月9日 JCM 公開セミナー: プロジェクト実施における経験と教訓(環境省・IGES 主催、東京) ◆

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)は、環境省と共催で、公開セミナー「二国間クレジット制度(JCM)～プロジェクトの実施における経験と教訓～」(イイノホール&カンファレンスセンター(東京都))を開催します。本セミナーは、JCMの周知と、JCMを通じた途上国における事業実施を支援する環境省によるJCM資金支援事業のさらなる拡大を目指した公開セミナーです。本セミナーでは、JCMパートナー国のうち、タイ・ベトナム・インドネシア(予定)の担当官が、各国における制度の進捗状況並びにプロジェクト実施等の最新情報について報告を行います。また、環境省JCM資金支援事業を実施する事業者(4社)より、プロジェクトの進捗・成果についてご紹介いただきます。

プログラム及び申込方法はこちらをご覧ください。

⇒ <https://www.iges.or.jp/jp/climate-energy/20180309.html>

---

◆COP23 サイドイベント「技術移転を通じたSDGsの達成」サマリーを公開しました◆

一般社団法人海外環境協力センター(OECC)、国際連合大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)は、11月6日～17日にドイツ・ボンで開催された国連気候変動枠組条約第23回締約国会議(COP23)のジャパンパビリオンにおけるサイドイベントとして、「技術移転を通じたSDGsの達成(Achieving SDGs through technology innovation, deployment, and transfer)」を開催しました。当日は各国の政府関係者のみならず自治体等の非政府主体や専門家の積極的な参加により、パネリストと活発な質疑応答がなされました。

・ファシリテーター: 竹本 和彦(UNU-IAS 所長/OECC 理事長)

□プレゼンター: スム・ティー(カンボジア環境省 気候変動課長)、ディッキー・エドウィン・ヒルダルト(インドネシア JCM 事務局長)、黒水 公博(横浜市 温暖化対策統括本部 副本部長)、小柳 百合子(OECC 研究員)、加藤 真(OECC 主席研究員)

<キーメッセージ>

・低炭素技術の移転や持続可能な開発を促すには JCM が有効なツールのひとつであり、途

上国のニーズに応えるものである。

□JCM のような二国間制度や地球環境ファシリティ（GEF）をはじめとする多国間基金を活用して技術移転を促進することで、資金を多様化することができ、国が決定する貢献（NDC）の野心を引き上げつつ効率的な達成に寄与する。

□実際にインドネシアやベトナムでは、JCM を呼び水としてパートナー国企業による投資や行動が促され、持続可能な発展サイクルが生まれつつある。

写真、発表及び議論の内容（日本語サマリー）はこちらをご覧ください。

⇒ [https://www.carbon-markets.go.jp/jp\\_info/jp\\_info\\_event/y\\_2017/20171109-1/](https://www.carbon-markets.go.jp/jp_info/jp_info_event/y_2017/20171109-1/)

---

◆平成 29 年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の二次公募における第二回採択が決定しました（環境省）◆

途上国において優れた低炭素技術等を活用して温室効果ガスの排出削減を行い、JCM に基づくクレジットの獲得を目指す「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業（JICA などと連携する事業を含む）」について、今般、3 件を採択しました。

採択案件の概要はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/105062.html>

---

◆アジア開発銀行による二国間クレジット制度日本基金を活用した第二号案件の承認について（環境省）◆

アジア開発銀行（ADB）は 2017 年 12 月 8 日（現地時間）、JCM 日本基金を活用した第二号案件として、カンボジア王国バットアンバンにおける先進的な省エネ型排水処理プラントのプロジェクトを承認しました。

環境省は、先進的な低炭素技術のアジア途上国への普及を促すため、平成 26 年度から ADB に JCM 日本基金を設置し、JCM でのクレジット化を進めています。

今後、環境省と ADB は、カンボジア王国と連携し、本プロジェクトの JCM プロジェクト登録に向けた手続を進めていく予定です。

JCM 日本基金の承認プロジェクトの概要はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/104915.html>

---

■ □発行・編集□ ■

炭素市場エクスプレス事務局

一般社団法人海外環境協力センター (OECC)

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 NP 御成門ビル 3 階

URL: <https://www.carbon-markets.go.jp/>

お問い合わせフォーム: <https://www.carbon-markets.go.jp/contact/>

---

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。